

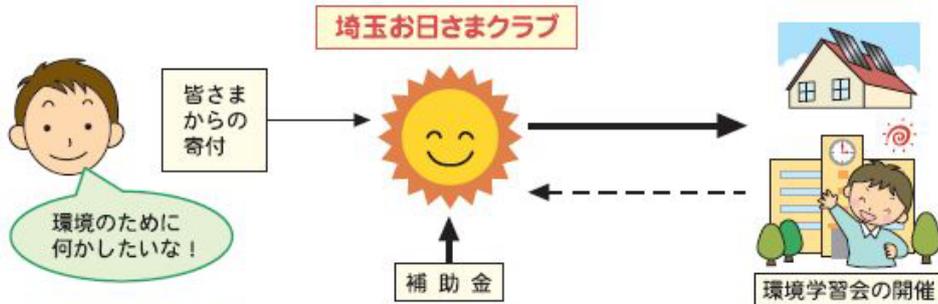
## 温暖化関連施策の他地域事例

### 1. 市民参加型太陽光発電の他地域事例

#### (1) 特定非営利活動法人 環境ネットワーク埼玉

環境ネットワーク埼玉では、市民や事業者からの寄付を資金として埼玉県内の保育園を中心に太陽光市民共同発電所設置場所を設置している。設置された太陽光発電は、非常時電源となるほか、保育園における環境教育にも活用されている。

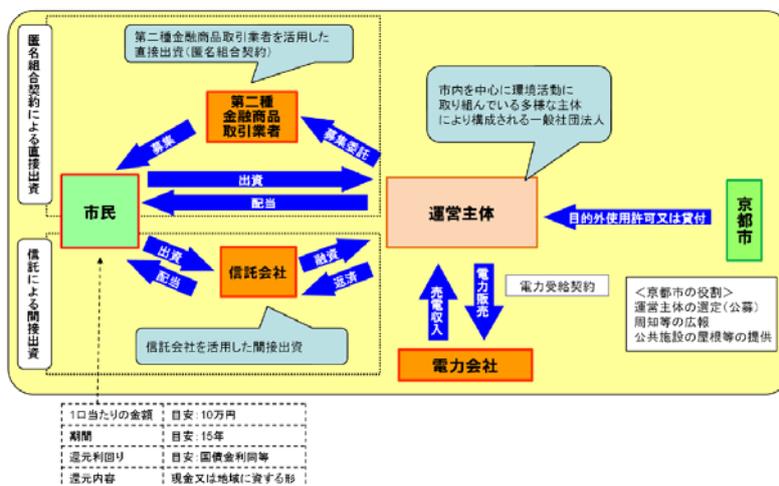
<p><b>&lt;計画概要&gt;</b> この事業は社会福祉法人吉川仲よし会吉川つばさ保育園とNPO法人環境ネットワーク埼玉お日さまクラブが一緒に、「吉川つばさ保育園」に市民共同で太陽光発電システムを設置するものです。資金は保育園、市民からの寄付、埼玉県からの補助でまかないます。設置後は保育園や地域と一緒に環境学習を進めていきます。</p>	<p><b>寄付金額</b> 1口2,000円（何口でも歓迎） 法人には5口以上をお願いいたします。寄付をいただいた方は、名簿を作成し配布します。また大口寄付者には感謝状を贈呈させていただく予定です。</p> <p><b>寄付募集期間</b> 平成23年10月～平成24年1月末</p> <p><b>寄付目標額</b> 70万円</p> <p><b>寄付金納入先</b> 環境ネットワーク埼玉お日さまクラブ</p> <p><b>郵便局口座</b> 00100-9-472708（振込手数料は恐縮ですがご負担下さい）</p>
---	---



資料：環境ネットワーク埼玉資料(第3号機設置事業のあらまし より抜粋)

#### (2) 京都市 市民協働発電所制度

京都市では、市施設等の屋根を運営主体に貸し、市民からの出資により太陽光発電を設置する市民協働発電所制度を立ちあげた。平成24年度には高校や公共施設への設置が進められた。



資料：「京都市市民協働発電制度検討委員会」報告書（平成24年11月）

## 2. 節電や省エネ対策の普及啓発・広報事例

### (1) クールシェア促進

・荒川区「まちなか避暑地」・・・荒川区では夏季に公共施設を「街なか避暑地」として開放している。一般の人の多くが自宅の冷房を切って、公共施設に集まることで、節電の効果が高まり、熱中症の予防と節電の両立に役立っている。



(荒川区資料)

・北九州市「まちなか避暑地」・・・暑い時間帯に家庭でエアコンやテレビをつけて過ごすのではなく、まちなかの商店街や百貨店など涼しいところで過ごし、家庭の省エネ・節電を図るとともに、まちなかのにぎわいづくりも進めるプロジェクト

「まちなか避暑地」のしくみ

- 1 13～17時に家の電気を消してまちなかに出かける  
(原則ノーマイカー)
- 2 参加店舗・参加公共施設を利用する  
(「まちなか避暑地ポスター」が目印)
- 3 「まちひしょカード」を提示すると  
ていたんシール1個ゲット!  
(カードは各店舗・参加公共施設等に設置)
- 4 店舗では、各店舗独自の特典もあり!
- 5 「ていたんシール」を10個集めると、ていたんグッズと交換  
・期間中は、「環境ミュージアム」もしくは、「市役所本庁舎」で「ていたんバッジ」と交換  
・期間中交換せずに、エコライフステージ(平成25年10月19日(土)、20日(日)、市役所・勝山公園)に持ってきてもらおうと、抽選会で景品と交換

→節電がすすみ、まちも賑わう

「まちひしょカード」の提示

市民

→

飲食店・店舗等

ていたんシール・割引(店舗のみ)などの特典付与  
※利用時間は13～17時  
原則ノーマイカー

(北九州市資料)

・熊谷市「クールシェアスポット」・・・節電対策や熱中症対策のほか、人と人とのつながりを深め、コミュニティやまちの活性化につなげることを目的として、クールシェアを促進している。参加店舗(事業所)で、クールシェアで来店された方への独自のサービス提供や、公共施設でのクールシェアスポットの設置を行っている。

・札幌市「ウォームシェアの推進」・・・厚別区は、みんなで暖かい空間や時間をシェアすることで、エネルギーの無駄を避けよう、という主旨のもと、その実践のヒントを掲載したチラシを昨年12月に作った。翌1月には「副都心を集ろう!」と題し、副都心商業施設のサービス、イベントなどが掲載された第2号を発行し、区内公共施設で配布した。

### (2) 人が多く集まる場所での普及啓発事例

・九州電力 うちわで節電PR・・・職員がJR佐賀駅で朝の通勤、通学者に



節電方法などを書いたうち約2千枚を配り、協力を求めた。(2013年)

- ・ **小田急グループ・環境省 環境 PR 列車の運行**・・・小田急電鉄株式会社では、2013年1月18日(金)から約1ヶ月間、環境省が地球温暖化防止を目的として推奨するスマートムーブとコラボレーションした環境PR列車を運行した。PR列車内では、中吊り、ドア横、窓上の広告枠にポスター等が掲出された。また、取組は新宿西口地上改札口横、成城学園前駅のデジタルサイネージでも紹介された。



環境 PR 列車  
(チャレンジ 25HP より)

- ・ **福岡県 節電街頭キャンペーン**・・・福岡県では、7/1に北九州市と福岡市の2ヶ所で同時に「節電街頭キャンペーン」を実施し、節電へのご協力を呼びかけた。また、6/1～9/30まで、「ふくおか省エネ・節電県民運動(検針票を見てみよう!キャンペーン)」を実施している。参加すると、協賛企業の店舗で割引などの特典が受けられる。



福岡県 節電街頭キャンペーン  
(福岡県 HP より)

### (3) ライトダウンキャンペーン

- ・ **大阪市 ライトダウンキャンペーン**・・・ビルや広告塔などのライトアップ施設や屋内照明の消灯の呼びかけを行う、ライトダウンキャンペーンを実施している。

### (4) グリーンエネルギークリスマス

- ・ 「**グリーンエネルギークリスマス**」(資源エネルギー庁)は、クリスマスシーズンに企業、自治体、団体などにグリーンエネルギー証書を購入してもらい、事業活動やイベントなどで、太陽光、風力などの自然エネルギーを活用してもらうものである。これは平成20年度から実施されており、昨年度は全国で130の参加があった。
- ・ その一例が「**さっぽろホワイトイルミネーション**」で、平成24年11月～12月に開かれた第32回の本イベントは「**エコ・イルミネーション**」として、メイン会場の札幌大通公園のイルミネーションで使う電力を、バイオディーゼル燃料による自家発電で賄った。



さっぽろホワイトイルミネーション HP より